

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。**※投てきの練習については、各種目の招集完了時刻までの使用とする。**使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・ 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・ 3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
- ・ 多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
- ・ 第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

## 2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

## 3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。  
ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。
- ③3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。  
※別ナンバーカードは招集所にて配布する。

## 4 選手招集について

- ①選手招集場所は第2ゲート付近とする。
- ②選手招集完了時刻は次のとおりとする

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目		競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド種目	フィールド種目 (※男女棒高跳・男女走幅跳を除く)	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
	女子 走幅跳	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
	男子 走幅跳	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
	男女 棒高跳	競技開始 70 分前	競技開始 60 分前

※棒高跳は、現地で招集を行う。

- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④リレーのオーダー表は招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
- ⑤2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

## 5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ④トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部(電気時計1/1000)まで読み取り着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者のみとする。
- ⑤レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑥リレー競技のマーカの使用は個人の物を認めるが、1カ所のみとする。使用したマーカはそのチームで処理する。
- ⑦予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- ⑧競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑨三段跳の踏み切り板の位置について、男子：11m、女子9mとする。
- ⑩携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

## 6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に第1ゲート倉庫付近で行う。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

## 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

- 第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技
- 第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技
- 第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳
- 第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳・三段跳

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等により変更あり）

		練習	競技開始			以降	以降
走高跳	男子	135	140	145	150	180まで 5cm刻み	3cm刻み
	女子	115	120	125	130	150まで 5cm刻み	3cm刻み
棒高跳	男子	250	260	270	290	300	10cm刻み
	女子	190	200	210	220	230	10cm刻み

9 表彰

各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。

※ただし、表彰式は行わないので、1～3位までの入賞者は、正面玄関内ロビーに賞状を取りに来てください。

10 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。
- ④記録は競技場メインスタンド下正面玄関付近に掲示する。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR

## 愛媛選手権参加資格について

① 2022年度各地区陸上競技選手権大会において3位以内に入賞した者。

※ただし、その種目に限る。

② 2021年4月1日～2022年6月22日（水）までに下記の標準記録に到達した者。

## 愛媛選手権参加標準記録

男 子		女 子	
種 目	記 録	種 目	記 録
100m	11"30	100m	13"30
200m	23"50	200m	27"50
400m	52"50	400m	1'04"50
800m	2'04"00	800m	2'28"00
1500m	4'20"00	1500m	5'15"00
5000m	15'45"00	5000m (3000m)	18'45"00 (10'45"00)
10000m (5000m)	36'00"00 (16'00"00)		
110mH	17"50	100mH	18"00
400mH	1'01"50	400mH (400m)	1'15"00 (1'06"00)
3000mSC	10'25"00	3000mSC	基準を設けない
5000mW	25'00"00	5000mW	30'00"00
4×100mR	45"00	4×100mR	54"00
4×400mR	3'35"00	4×400mR	基準を設けない
走高跳	1m70	走高跳	1m45
棒高跳	3m40	棒高跳	2m00
走幅跳	6m20	走幅跳	4m80
三段跳	12m70	三段跳	9m50
砲丸投 (7.260kg)	9m50 (11m50)	砲丸投 (4.000kg)	9m00
円盤投 (2.000kg)	27m00 (28m00)	円盤投 (1.000kg)	26m00
ハンマー投 (7.260kg)	30m00 (35m00)	ハンマー投 (4.000kg)	23m00
やり投	48m00	やり投	30m00

男子10000m の ( )・・・5000mの記録

女子 5000m の ( )・・・3000mの記録

女子 400mHの ( )・・・400mの記録

男子 投てき種目 の ( )・・・ジュニア用の記録